

「あいち朝日遺跡ミュージアム」がオープン

11月22日(日)に東海地方を代表する弥生時代の遺跡「朝日遺跡」の魅力を発信する施設として、整備を進めていた「あいち朝日遺跡ミュージアム(清須市)」をオープンしました。



【施設概要】所在地 清須市朝日貝塚1番地 開館時間 9:30~17:00(月曜日・年末年始休館)

- 主な展示物
- 基本展示室1 アニメ映像、ジオラマなどによる朝日遺跡の紹介
 - 基本展示室2 国指定重要文化財の展示
 - 企画展示室 弥生時代や朝日遺跡に関する様々なテーマによる展示
 - 屋外施設 竪穴住居2棟、高床倉庫1棟、方形周溝墓(ほうけいしゅうこうぼ)、水田、環濠(かんごう)復元、貝層断面展示など



小幡緑地本園、ただいま整備中です

小幡緑地本園でカフェやキャンプ場の整備のための工事が進んでいます。

工事の期間はご迷惑をおかけ致しますが、2021年春には完成予定です。



現在工事中



完成予定図

夢!きらリンク愛知国体開催

2021年1月27日~31日の日程で、第76回国民体育大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会が開催されます。

競技日程

フィギアスケート	1月27日~30日	日本ガイシアリーナアイスリンク
ショートトラック	1月30日~31日	日本ガイシアリーナアイスリンク
アイスホッケー	1月27日~31日	アクアアリーナ豊橋及びモリコロパーク

※それぞれの会場では、コロナ感染防止で入場制限が想定されています。

詳しくは

夢!きらリンク愛知国体 氷上で繋がる心輝く未来 yume-kirarink2021.jp



後援会行事についてのご連絡

日頃は森井もとし後援会の諸活動にご協力頂き誠にありがとうございます。森井後援会では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて諸行事の開催を中止させて頂いています。皆様が安心してご参加頂ける状況になりましたら、改めて楽しい行事を企画してご案内させて頂きます。その折には是非ご参加頂きますようお願い申し上げます。今後とも森井もとの活動に対して変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に係わる給付金・補助金、経営支援など、公的支援に関してのお問い合わせは

発行元

森井もとし事務所

〒463-0015 名古屋市守山区西島町1-1

電話 052-796-7311 FAX 052-796-7312

E-mail info@morii.org

森井もとし

検索



愛知県政レポート

声が形になる県政!

2021年
新春号
ご意見をお聞かせ
ください!

愛知県議会議員

森井もとし



謹んで新年のご挨拶を
申し上げます。



まずは、新型コロナウイルス感染症への対応にご尽力くださっている医療関係の皆様を始め、ご奮闘頂いているエッセンシャルワーカーの皆様、また、感染拡大防止の為に尽力頂いている県民の皆様一人一人に心からの敬意とそして感謝を申し上げます。

県議会では昨年2月に編成した補正予算から始まり、現在までに総額3118億余円を編成して、「愛知県新型コロナウイルス感染症緊急対策」を進めてまいりました。

しかし、依然コロナの終息は見えず、県民の皆様お一人お一人が感染拡大を防いでいくためのキーマンです。

皆様が少しでも安心して過ごせるように、「生活者」「勤労者」「現場」の視点で、できるだけきめ細かい施策の展開を県行政に求めていく所存です。

本年も皆様の安心と幸せにつながる施策の実現のため、「声が形になる県政」を一つ一つ推し進めてまいります。皆様の変わらぬご支援とご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

森井もとしプロフィールPROFILE

- 1963年6月生まれ
- 名古屋市立大森小、中学校卒業
- 米国パークシャー高校、米国ボストン大学心理学部卒業
- 伊国グレゴリアン大大学院修士号取得
- 古川元久さんと出会い、政治を志す。
- 2001年7月 参議院議員大塚耕平公設第一秘書
- 2003年4月 愛知県議会議員(守山区)
- 2011年6月 愛知県の金融機関の海外進出顧問、アセアンで電源開発、工業用地開発会社顧問
- 2015年4月 愛知県議会復帰(3期目) 民主党愛知県議団政策調査会長
- 2016年 健康福祉委員会 委員長
- 2018年4月 新政あいちに参画
- 2020年5月 産業イノベーション推進特別委員会 委員長



新型コロナウイルス(COVID19)関連の情報ページ

- 愛知県のCOVID19関連の情報ページ <https://www.pref.aichi.jp/site/covid19-aichi/>
- 名古屋市のCOVID19関連の情報ページ <https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000125324.html>



コロナウイルス危機を乗り越えよう！

令和2年11月定例愛知県議会が11月27日から12月16日までの会期20日間で開催されました。上程された議案は、一般会計507億1,425万円余、特別会計115万円余の増額と企業会計5,323万円余を減額した増額補正予算をはじめ86議案を可決承認しました。

また、補正予算以外の議案は、条例関係議案、人事案件に加え、県が所有する41施設の指定管理者の指定に係る議案を議決しました。

2021年早々には第76回国民体育大会冬季大会のスケート種目とアイスホッケーが愛知県で開催され、希望に満ちた1年になることを願います。



2020年 11月議会で可決された新型コロナウイルス感染防止対策の主な事業

■ PCR検査体制強化事業 32億6772万円

医師等の指示でPCR検査及び抗体検査を実施した場合の本人負担に相当する金額を補助します。

■ 診察・検査医療機関の設備導入支援 41億1897万円

発熱患者を受け入れる地域の医療機関が行う簡易検査室や空気清浄機などの施設整備を支援。外来診察・検査体制の整備を図ります。

■ 医療機関等の医療従事者や職員等に慰労金を交付 59億2370万円

新型コロナウイルス感染症患者と接する医療機関等の医療従事者や職員等に対して慰労金を交付します。

■ 子ども食堂への支援 1750万円

消毒液やマスクなど衛生用品購入費支援。(1カ所 10万円)

■ 避難所の感染予防対策支援 1億6000万円

市町村の避難所の感染防止資機材の整備を支援します



感染症防止対策協力金 303億4200万円

県内全域の酒類の提供を伴う飲食店等が、2020年12月19日から2021年1月11日までの25日間の営業時間の短縮要請に応じ、業種別ガイドラインを遵守し、「安全・安心宣言施設」への登録等をした飲食店に対して、1日あたり4万円、最大100万円を交付します。 ※全日休業とした場合も含まれます。

ひとり親家庭へ臨時特別交付金を再支給します 1億6994万円

年末、年始に向け、ひとり親家庭に対して臨時特別給付金を再支給します。

1世帯 5万円 第2子以降児童1人に付き3万円が加算されます。

※2020年12月11日時点で既にひとり親世帯臨時特別給付金の支給を受けている又は申請している方は申請不要です。



県立高校のICT環境整備

タブレット端末を用いた事業の本格導入に向け、県立高校へ生徒用タブレット端末を追加整備します。

■ 事業費
22億4453万円

■ 整備数
22000台
(18000台が整備済み 合計40000台)

※県立特別支援学校は全児童数分整備済み



全国技能五輪・アビリンピック2020大会

愛知県選手団が最優秀技能選手団賞を16年連続で受賞！

2020年11月13日～16日に昨年に続き愛知県国際展示場で開催された2020年大会で、愛知県選手団は技能五輪では金賞17名を始め91人が入賞し16年連続で最優秀技能選手団賞を受賞しました。また全国アビリンピックでも金賞2名を始め11名が入賞し3年連続でメダル獲得数全国1位に輝く素晴らしい成績を収めました。



デジタル化に向けた取組を加速

コロナ禍において、給付金等の支給に遅れが生じたことなどを通じ、行政分野でのデジタル化の必要性が浮き彫りになりました。

愛知県では知事を本部長とした「愛知県DX(デジタルトランスフォーメーション)本部」を立ち上げ、行政分野のみならずの産業界のデジタル化の推進とそのための人材育成等の取り組みを進めていきます。



概要	・行政手続等のオンライン化方針の策定に向けた課題分析	・庁内ネットワークの再構築計画の策定に向けた事前調査
要	・ICT※1人材の育成	・5G※2ワンストップ窓口の開設準備

※1 ICT…information and communication technology 情報通信技術 インターネットのような通信技術を利用した産業やサービスなどの総称。
※2 5G…第五世代移動通信システム 携帯電話の電波などの高速・大容量・低遅延な次世代通信規格(現在の4Gが瀬戸電だとしたら5Gは新幹線)

知事に聞きました

1 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた観光産業の振興策にどのように取り組んでいくのか

(知事答弁要旨) 県内旅行を呼びかける「LOVEあいちキャンペーン」を期間延長し、「県内旅行商品の割引」や「GoToトラベル事業」の割引に上乘せる本県独自の「県内宿泊施設利用に対する割引」を開始している。感染防止対策を徹底しながら、遊園地やレジャー施設等の観光施設を始め、宿泊、飲食、交通などの利用を組み合わせ、裾野が広い観光関連産業に、幅広く効果を波及させていく。

2 中小企業に対するテレワークの導入促進についてどのように取り組んでいくのか

(知事答弁要旨) 県、経済団体、労働団体等で構成する「愛知県テレワーク推進会議」において、来年度から3年間で集中的に取り組むべき事項を検討し、施策の方向性をとりまとめたアクションプランを策定する。テレワークは、コロナ禍における「新しい生活様式」の一つであり、企業の持続的発展とワーク・ライフ・バランスの推進につながるため、今後とも企業におけるテレワークの導入と定着に取り組み、働き方改革の実現を図っていく。

3 特別支援学校の生徒に対する就労支援及び、過大化による教室不足と長時間通学の解消にどのように取り組んでいくのか

(教育長答弁要旨) 拠点校配置している就労アドバイザーを増員し、地元企業等と連携して、地域の特色ある産業を生かした就職先・実習先の開拓などを行う。

安城特別支援学校の過大化、岡崎特別支援学校の長時間通学の解消のため、西尾市に新設の特別支援学校を開校するほか、知多地区における聴覚障害のある幼児児童の長時間通学の解消を図るため、東浦高等学校内に聾学校分校を設置するなど、「愛知・つながりプラン2023」に基づき、取り組んでいく。

森井もとし議員(守山区4期 新政あいち)は12月2日の本会議において、県内の放課後児童クラブ(学童保育所)の質の向上について県の姿勢を質した

放課後児童クラブでは、慢性的に待機児童が発生し、数的拡充が課題ですが、同時にその運営や設備の平準化とその質の向上にも取り組む必要性が国により示されています。

放課後児童クラブは、その歴史的背景から多様な運営形式が混在していますが、県内どのクラブでも質の高い平準化したサービスを受けられる安心の体制づくりに向けてどのように取り組んでいくのか県の姿勢を質しました。

県は、今年度中に、放課後児童クラブが抱える様々な課題について、市町村の実務担当者による意見交換などを行う機会を作り、その質の向上に、取り組んでいく姿勢を示しました。

また、コロナ禍でのテレワークの整備を進める県行政において、懸念されるテレワークゆえのコミュニケーション不足の打開策として、ビジネスチャットツールの活用についても質問・提案し、県は今後庁内の新たなコミュニケーション手段として、チャットツール利用を全庁へ拡大整備する考えを示しました。

